

平成29年度指定管理者制度活用事業 評価シート(こども文化センター)

1. 基本事項

施設名称	宮前区第2グループ(宮前平・平・白幡台)	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H28		H29		H28		H29	
	1 宮前平こども文化センター ①年間延べ利用者数	32,971人	26,690人	②年間延べ利用団体数	591団体	393団体		
2 富士見台小学校わくわくプラザ ①登録者数	439人	458人	②年間延べ利用者数	23,319人	25,986人			
3 宮前平小学校わくわくプラザ ①登録者数	246人	253人	②年間延べ利用者数	14,316人	15,941人			
4 土橋小学校わくわくプラザ ①登録者数	490人	451人	②年間延べ利用者数	23,774人	24,595人			
1 平こども文化センター ①年間延べ利用者数	33,559人	30,821人	②年間延べ利用団体数	366団体	341団体			
2 向丘小学校わくわくプラザ ①登録者数	323人	301人	②年間延べ利用者数	15,991人	16,918人			
1 白幡台こども文化センター ①年間延べ利用者数	22,926人	18,029人	②年間延べ利用団体数	381団体	245団体			
2 白幡台小学校わくわくプラザ ①登録者数	128人	133人	②年間延べ利用者数	6,462人	7,906人			
3 平小学校わくわくプラザ ①登録者数	207人	217人	②年間延べ利用者数	9,484人	12,335人			
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 166,411,063 2 支出 人件費 145,238,965 管理費 11,386,204 事務経費 6,985,240 その他経費 9,050,913 合計 172,661,322 3 差引 -6,250,259							
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	3	6
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
(評価の理由) ・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・平こども文化センターでは、子ども運営会議から、「平公園をきれいにしたい」との意見が上がり、新たな取組として、老人いこいの家と連携し、「平公園をきれいにしよう」を実施した。子どもたちが高齢者から助言を受けながら、アサガオやマンジュー等の花を植え、公園の美化活動を通して、多世代交流が促進された。 ・宮前平こども文化センターでは、今年度も「ハロウィンパーティー」を実施し、幅広い利用者が参加出来るように、午前と午後の2部制に改善した結果、幼児親子や小学生の参加が前年の2倍に増えた。また、成人や高齢者からなる施設利用団体に対して、何か乳幼児の喜ぶ企画をやってほしいと働きかけた結果、「3Bさんの親子体操」「親子でバルーンパレード！」を実施し、参加した乳幼児親子に好評であった。 ・土橋小学校わくわくプラザでは、新たな取組として、子ども運営会議で意見を出し合い、子どもが命名した「ウキウキタイム」で、だるまさんが転んだ等の集団遊びを実施し、異年齢交流が促進された。					
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	4	8
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3	
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	4	4	
(評価の理由) ・利用者ニーズの把握について、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通じて、利用者ニーズ把握に努め、購入図書や施設利用ルール策定等、施設運営に活かしているとともに、利用者・キッズスタッフの意見を積極的に取り入れた。特に、宮前平こども文化センターでは、中学生の主体的な発案から企画、運営により「百人一首大会」などの行事を開催した。また、白幡台こども文化センターでは、携帯ゲーム機などの紛失を防止するため、子ども運営会議の提言に応じて、鍵付きロッカーを導入した。 ・特別な配慮を要する利用者への対応について、小学校や児童支援コーディネーター等と連携し、情報共有等を行っているほか、巡回相談員による「配慮が必要な児童への対応研修」を受講し、職員資質向上に努めるとともに、個々の児童に合わせた対応をしている。特に、富士見台小学校わくわくプラザでは、研修時の「自閉傾向のある児童へは、聴覚よりも視覚に訴えた指示のほうが理解しやすい場合がある」とのアドバイスに従い、絵付きのカードを作成したことで、自閉傾向のある児童とスタッフとの意思疎通がスムーズになった。 ・学校及び行政機関との連携について、学校施設開放委員会や学校行事の参加に加え、大学生の実習受け入れ等地域主体と連携した取組がなされている。特に、宮前平こども文化センター及び管轄わくわくプラザでは、新たな連携先として、特別養護老人ホームと連携し、昔遊びや歌を通して、高齢者と交流を行っている。 ・施設・事業の広報については、ホームページやおたより等多様な媒体を用いて積極的な広報を行っている。また、幼児に向けたより、中高生に向けたよりの発行等、対象年齢を捉えた効果的な広報に努めている。特に、白幡台こども文化センターでは、今年度新たに乳幼児親子向けの「ぶちよだより」も毎月発行して近隣の幼稚園や保育園にも配布したところ、乳幼児親子の新規来館に繋がった。 ・保護者懇談会の実施について、懇談会が定期的で開催され、保護者の要望を把握している。富士見台小学校わくわくプラザでは、保護者懇談会に参加した保護者から、食べ物の行事を増やしてほしいとの要望があり、おやつ行事を前年度より5回多く実施した。					

組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置ができています。</li> <li>・職員の研修体制については、運営法人の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、または、職位ごと、分野ごとの研修が行われていた。また、スタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有する等、共有化の仕組み作りが出来ている。特に、区研修として「ドッジビー審判研修」を実施し、ルールや試合運営について学び、職員全員が、宮前区6館合同事業「ドッジビーみやりんピックシリーズ8」の実施に活かされた。</li> <li>・個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はなかった。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	3	3
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	4	4
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	3	3
		災害発生時に備えた対応が図られているか。			
		災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。</li> <li>・利用者の安全確保については、財団作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行うとともに、実際の事故やヒヤリハット事例をもとに法人本部で「事例検討シート」を年2回作成し、館長会議、各館での職員会議、スタッフ会議と三階層において議論を重ね、そこで得られた対応策を集約して共有するなど、職員等の資質向上を図っている。また、平こども文化センターでは、事例研修を実施し、他館の事故報告や他の事例をもとに、職員やスタッフ全員で事故防止に取り組んだ。</li> <li>・防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備用品の常備や老人いこいの家、保育園と合同の消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。</li> </ul>					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
	支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。				
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。</li> <li>・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。</li> </ul>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

指定管理者制度導入以前の管理委託時代から、こども文化センター及びわくわくプラザの管理運営を行っていた長年の経験を活かし、法人本部を中心に、全市規模、区規模の合同行事や様々な職員研修が体系的に実施されており、それらの取組により、良質かつ均質なサービスの提供が行われている。グループとしては、今年度新たに小学生、中学生、乳幼児親子の交流事業を開催するなど、様々なグループ合同行事や事業を展開している。

また、各館においても、老人いこいの家との合同行事や、乳幼児親子を対象とした「ぶちひよタイム」など、特色あるイベントを企画・実施して、多世代交流の推進や新たな利用者層獲得に取り組んだ。

個別の児童への対応についてもきめ細かく丁寧で、平こども文化センターにおいて、問題行動が見られる児童について、保護者や学校と情報交換を行う中で、家庭環境の問題点を把握し、児童相談所と連携して保護者に対する支援に結び付けた事例は、特筆に値する。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子どもが顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。